

研究所ニュース No.73

# りべらしおん

「りべらしおん」は、フランス語で「解放」という意味です。

発行：公益社団法人 福岡県人権研究所

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 福岡県吉塚合同庁舎4階 TEL 092-645-0388  
FAX 092-645-0387 Mail:info@f-jinken.com URL:http://www.f-jinken.com/

## 2015. 10. 27 新企画「啓発担当者のための人権講座」



2015年10月27日(金)、福岡県部落解放センター(福岡市)で、新企画「啓発担当者のための人権講座」(兼第1回啓発担当者の集い、第187回定例研究会、第4回啓発部会)を開催しました。企業や行政の啓発担当者をはじめ、90名余の方が熱心に参加しました。

\* \* \*

第一部(午前)の開講行事では、本研究所 松尾祐作 所長の挨拶に続いて協賛の部落解放同盟福岡県連合会委員長 組坂繁之さん から本講座への期待を込めた挨拶をいただきました。

\* \* \*

第一講は、内田博文さん(九州大名誉教授)の講演「差別を規制することの意味～国際的



な人権状況から～」(写真左)。

まず、人権の発展について、人権の意義、人権の道徳的側面と法的側面について整理し、続

いて、「世界人権宣言」や各種国際的人権条約

が成立されていく経過と内容を説明。さらに日本におけるハンセン病問題や「障害者差別解消推進法」などを具体例に、当事者主権、差別被害に関する法規制の重要性、「差別禁止法」の制定を考える上での論点とこれから一と論を進め、最後に、今後の方向として、「原理論と当事者運動と支援運動」という「人間解放をめざす三本の矢」を提案されました。

\* \* \*

第二部(午後)のはじめに当たって、部落解放同盟福岡県連合会書記長 吉岡正博さん から「部落地名総鑑」発覚時の緊迫した状況を振り返るとともに、今後の取組に対する思いを語っていただきました。

\* \* \*

第二講は、友永健三さん(部落解放・人権研究所名誉理事)の講演「同対審答申50年・部落地名総鑑事件発覚40年」(写真は次ページ)

「部落解放要求貫徹請願大行進」など「同対審答申」に至る世論形成の経過や「同対審答申のポイント」(前文、同対審の具体策案、総合計画の策定と年次計画の樹立、同和行政の方向)、次に「『同対審答申』完全実施要求国民運動」によって「同和对策事業特別措置法」が策定されたこととその後の33年間の成果を整理して提起しました。

一方、取り組みの不十分さとして、差別意識、差別事件の具体例を挙げ、特に1975年11月の「部落地名総鑑」差別事件については、当時の「解放新聞」などを資料にして、当事者として闘ったことを含めて、深い思いを込めて語られ

ました。

最後に「同対審答申」50年、「部落地名総鑑」発覚40年、人種差別撤廃条約締結20年、敗戦から70年の節目の年であることを念頭に、「差別の撤廃と人権の確立こそ恒久平和を実現することに通じる。日本国憲法と世界人権宣言の基本精神の再確認!」とまとめられました。

\* \* \*

最後の「振り返りと交流」(写真下)では、本研究所事務長 谷口研二 が進行役になり、今日の講座で印象に残った人や言葉、エピソードなどを



出し合い、一人一人がどう実践化するかを交流し(写真左)、講座を終了しました。

\* \* \*

講座の案内文には「国内外の人権状況を踏まえてこれからの教育・啓発の在り方について考えていくためのヒントが満載の“わかりやすくためになる”講座」と書きました。県内60市町村に案内をしたのですが、企業の担当者に多く参加していただいたのに比べ、行政の啓発担当者の参加は必ずしも期待したとおりではありませんでした。今後の検討課題だと考えています。

なお、詳しい内容を収録した「テキスト(当日配布資料)」を頒布しています。ご希望の方は事務局にご連絡下さい。

(事務局 峰 司郎)

\* \* \*

参加者の感想から

- 内田先生、友永先生から共に元気をいただける講演であり、動き出せます。
- (死刑廃止について)被害者の人権をまず優先した法整備が必要。
- 内田先生の講座で、人権論というものを始めてしっかり学べた。理解できるか心配だったが興味深く学ばせていただいた。「日本型の人権」にしか目が向いていなかった自分に気づくとともに、「ヨーロッパ型の人権」についての視野をいただいた。日本の不十分さ、「遅れ」に驚いた。今後も関心をもって学びたいと思った。友永さんの講座は、同対審の内容がとてもよく分かった。今後のベースになりそうです。
- 「保護の客体」から「権利の主体」へ!!! 思いやりやいたわりではない教育・啓発をより具体的に今後学習したい。関連法律を読み込むことが大切だと思った。(ハンセン病問題基本法、障害者差別解消法など)
- 第二講は、ほぼ知ってる内容ながら友永氏のエピソードや分かりやすい解説があり興味をもてた。次年度以降も引き続きの開催を期待しています。
- 企業の研修担当として原点を学ぶということの大切さ重要さを再認識した。
- 振り返りと交流でいろいろな意見交換ができた。「人権とは何か」再度考えたいと思った。定期的開催を継続してほしい。盛りだくさんだが内容の濃い充実した研修だった。ぜひ来年もこのスタイルで続けてほしい。グループワークもあり大変有意義な時間を過ごすことができた。
- 友永さんの話で同和問題の関連法令の内容、現状が整理できた。世界遺産の取組についても聞きたい。
- 2人の講師の講演はこれまでの自分自身の考えや行動の振り返りになり、また、新たな知識を得ることができました。

報告

世界記憶遺産国内選考 惜しくも未認定でした

全国水平社宣言等資料(11点)

○ 16応募中2つが国内候補に

2015(平成27)年9月24日、HPで国内ユネスコ世界遺産選考委員会は2つの世界記憶遺産国内候補を発表した。3月末締め切りのユネスコ国内委員会への応募申請は16あり、その中に全国水平社宣言等資料(11点)(以下水平社宣言資料と略す)もあった。残念ながら惜しいところで未認定となった。

○ 論議は継続中

岐阜県杉原千畝、群馬県上野三碑の2つが2017年ユネスコ決定の世界記憶遺産候補(登録されれば日本からは第六、七番目)となった。これらの国内経過や世界遺産登録をめぐるユネスコの選考過程についてはマスコミ・政府・世論で議論が継続している。

わが公益社団法人福岡県人権研究所は、この2年間、「全国水平社宣言関係資料の世界遺産をめざす会」での幹事として活動を行ってきた。機関誌での発表、奈良県水平社博物



「めざす会」作成のパンフレットの表紙

員(現館長)、大阪の人権博物館朝治館長の講演や署名活動(千名以上を研究所として提出)、各地での啓発講演活動である。

これらの活動への協力のお礼をこの場で会員の皆様へ申し上げます。

○ 今後の方向性

今後の方向として「めざす会」事務局次長の友永健三氏の指摘を踏まえ、成果と問題点を述べておく。12月7日の「めざす会」の事務局会で方針案が出される予定である。「水平社宣言資料の国内第2次申請の取り組み」の総括で、評価できる点は以下2点である。

- 1 前回申請の問題点を法政大学所蔵の宣言や阪本原資料などを加え充実した申請となった。
- 2 世論喚起に取り組むことができた。
  - ①パンフレットの作成、②各種集会での世論喚起、③個人・団体署名3万筆予定が15万筆以上にまで取り組めた、④関係者への要請に取り組んだ。

問題点・課題としては、選考されなかった理由が明確化できていない点にある。

すなわち9月の選考結果に関する分析がさらに必要である。

- 1 前回は公表された選考過程の透明性が確保されていない。
- 2 下村文科相(当時)による途中経過公表記事に示される問題(群馬新聞)
- 3 選考されなかった理由が明確にされていない。(一部森山加筆)

今後は、学術性を重視しながら、研究、市民団体主導で継続申請していく必要があると思われる。

(公社)福岡県人権研究所理事長 森山沾一

投稿 全国人権ネットワーキ

人権ネット加盟団体から、今号は「久留米市人権啓発センター」に寄稿していただきました

差別をなくし、誰もが安心して暮らせるまちを実現するために

久留米市人権啓発センター (えーるピアくるめ 1階)

久留米市人権啓発センターは、人と人が手をつなぎ、心をつないで、ともに生きていく社会の実現をめざしています。わたしたちの日常で、当たり前になっていることが、実はある人にとってはとても生き難さを感じさせられるものであることがあります。身のまわりにある人権問題を正しく知り、誰もが安心して暮らせるよう、ともに学び合ひましょう。久留米市人権啓発センターは、さまざまな差別をなくし、誰もが安心して暮らせるまちを実現するためにともに考え、ともに学ぶための施設です。

久留米市人権啓発センターの常設展示室について

(1) 基本コンセプト

① 感じ・考え・行動するために

さまざまな人権問題について、正しく知る、自分の問題として考える、学びから行動へ、みんなで考えみんなで取り組む、という4つの視点で構成しています。

② 映像や音楽を活用

モニターやスクリーンで映像や音楽を流し、考えるきっかけづくりをしています。

③ よりわかりやすく

解説文は、分かりやすく簡潔にし、写真やイラストを多く取り入れています。ご要望があれば、職員が展示物の説明を行います。お気軽にご利用ください。

(2) 常設展示室各コーナー

① プロローグ

わたしの人権やまわりの人の人権について、パネルや映像、音楽を使いながら、みなさんと一緒に考えていくコーナーです。廊下展示も行っています。

② 同和問題について

同和問題についての理解と認識を深めるコーナーです。同和問題を正しく学習することは、

同和問題を身近な問題としてとらえ、自分自身を問い直し、自ら考え、不合理な差別をなくすために行動するきっかけになります。



【写真 同和問題コーナー】

③ 人権が尊重される社会をめざして

ここでは、同和問題を解決していく取り組みが、あらゆる人権問題の解決に向けての道しるべとなることをお伝えしています。また、久留米市や久留米市議会の取り組み等も紹介しています。

④ さまざまな人権問題

「久留米市人権教育・啓発基本指針」にもとづいて、男女平等や子どもの人権、高齢者の人権、障害のある人の人権などさまざまな人権問題について考えます。

⑤ エピローグ

市内で行われている人権のまちづくりの活動を紹介しています。また、啓発ビデオの上映なども行っています。



【啓発展示室コーナーの様子】

(3) 久留米市人権啓発センター

の活用について

① 人権研修をしたけれど、誰か話してくれる人はいないかなあ？

地域や会社、団体で研修を予定される場合に、学習会・研修会の企画相談や講師派遣などについて、ご相談を受けています。久留米市人権啓発センターに登録されている講師団の講師を活用することもできます。(市内団体等の場合、講師料無料)

② いろんな人権問題についてのビデオや本は見られませんか？

久留米市人権啓発センターでは、ビデオ教材や書籍の貸出を無料で行っています。一度に5点まで借りることができます。貸出期間は2週間です。学習会や研修会に、ぜひご利用ください。なお、ご利用の際はご本人が確認できるもの(免許証や市民図書館カードなど)をお持ちください。

③ 文化祭やイベントで、人権について考える

報告

第14回企同推フィールドワーク(全九州水平社ゆかりの地を訪ねて)

八幡地区企業内同和問題研修推進委員会 今石 吉紀

2015年10月9日(金)、九州における部落解放運動の出発点である「全九州水平社のゆかりの地」(福岡市内)を訪ね、当時の部落解放運動に関わった人々の願いを深化させるため、フィールドワークを実施しました。本フィールドワークは、八幡地区企業内同和問題研修推進委員会で計画をし、他地区の企同推にも参加をはたらきかけ、今年で14回目の実施となります。

企画・運営は、公益社団法人福岡県人権研究所が行いました。

今回のフィールドワークでは、講師の竹森健二郎さんから福岡市内の各地を案内していただきながら、当時の街並みや、関わった人々の思いなど、文献には書かれていない内容を丁寧に説明していただき、非常に分かりやすい内容でした。特に、「全九州水平社」の創立に関して深く学ぶことができ、印象に残っています。

フィールドワーク内容

- ① 東公園亀山上皇像前(松本治一郎の下獄に際し記念撮影を行った場所)
- ② 全九州水平社創立大会跡地(旧博多座跡)
- ③ 大光寺(松本源太郎と藤岡正右衛門の墓、不可侵・不可被侵(松本治一郎座右の銘)の碑)
- ④ 翁別神社(松本治一郎生家跡)
- ⑤ 松源寺(五人衆の過去帳を有する寺)
- ⑥ 寛政五人衆合葬之墓

また、フィールドワークに加え、部落差別の実態を学び今後の活動に活かすことを目的に部落解放同盟福岡県連 吉岡書記長 にご講演いただきました。

きっかけになるような展示パネルがあったらいいけど。

久留米市人権啓発センターでは、これまで特別展のために作成した啓発パネルの貸出を無料で行っています。市内の児童・生徒が描いたポスターのパネルや、同和問題解決に向けた取り組み、水俣病やハンセン病などについて知るパネル、身の回りの人権問題について考えるパネルなどがあります。ぜひご利用ください。なお、ご利用の際には、必ず印鑑をお持ちください。

- ▷ 入館料は無料。
- ▷ 開館は、午前9時30分～午後5時まで。
- ▷ 休館日は、月の末日、祝・休日、年末年始(12月29日～1月3日)

久留米市人権啓発センター (えーるピアくるめ 1階)

〒830-0037 福岡県久留米市諏訪野町1830-6  
TEL 0942-30-7500 FAX 0942-30-7501  
E-mail jinken@city.kurume.fukuoka.jp

ご講演は、普段ではあまり聞くことのできないご自身の被差別体験談などを交えた内容で、企業の立場から改めて同和問題改善に向き合うきっかけとなりました。



【全九州水平社創立大会跡地(旧博多座跡)にて】



【寛政五人衆合葬之墓にて】

参加者の感想から

- 案内をいただいた竹森さんの説明が分かりやすく深い内容まで及び、すばらしかったです。歩きながら、気付いたことがあれば、すぐにそこでお話をさせていただきました。企業内で人権の話をする立場にある我々にとって、資料を読むことや写真を見るだけではなく、実際に自分の目で見てその場で説明を聞く事によって、理解が深まりますし、記憶にもしっかりと残ります。人権啓発推進担当者に必要なことだと認識できました。
- 吉岡書記長の講演では、普段聞くことのできない、自ら差別された体験を聞かせていただき、非常に実りのあるものでした。貴重な体験でした。



【吉岡さんのご講演】

「北九州市ふれあいフェスタ 2015」 11月29日(日)

外国人部会を中心として「スリランカ」の展示と「組紐づくりの体験」を行いました

「北九州市ふれあいフェスタ 2015」が、11月29日(日)、「ウェルとばた」で開催されました。2・3階の「ふれあい広場」には25のブースが設置され、活動の紹介やバザーなどが行われました。



(公社)福岡県人権研究所

は、外国人部会が中心になって「スリランカ」のパネル展示や光武節さん(会員)の「組紐づくり」の実演と体験コーナーも行いました(ニュース「リベらしおん」の前号を参照)。

紅茶農園の労働者の働く様子や生活の様子など人権の視点から見たスリランカの展示でした。(写真左)

スリランカのDVDも流れ、紅茶のコーナーなどもあり50人以上の方が展示や人権研究所の出版物を見たりしていました。

質問にも丁寧に説明していました。(写真

下)。



組紐づくりの体験コーナーでは、6の方が体験しました。11時から昼過ぎまでかけて集中し、「オリジナルのきれいな組紐のおみやげができた」と喜

びの声も聞かれました。

(公社)福岡県人権研究所の取り組みや、これまで11回に及ぶ海外人権スタディツアーの紹介もできました。

他のブースには、「水平社宣言」の展示や「手づくりおもちゃコーナー」などがあり、楽しくためになる「ふれあいフェスタ」でした。たくさんの方のご協力ありがとうございました。

(事務局/峰 司郎)

お知らせ 「史実と授業・啓発の結合をめざして」

(福岡市人権啓発センター「若者と考える、地域にねざす部落史セミナー第5回」)

テーマは、

福岡の部落史・部落解放史をどう伝えていくか。今後の展望—史実をどう活かすか。

内容・講師

- 1 「差別とは何か」(石瀧豊美)
- 2 部落解放史から学んだ生き抜く力(森山沾一)
- 3 意見交換・質疑・応答

日時

2016年1月22日(金)午後7時～

場所

あいれふ10階(市営地下鉄赤坂下車)

詳細・申込は同封のチラシを参照してください。

(公社)福岡県人権研究所は、2016年度研究プロジェクトを募集します。

応募要項

- 1 助成対象分野 福岡県における部落問題をはじめとする人権問題の解決に資する分野の研究。
- 2 応募資格・条件 (1) 代表者は研究所会員とする。研究分担者は会員外でも可。(2) 経過・成果については年度末の理事会に報告する。(3) プロジェクトの成果は福岡県人権研究所の機関誌「リベラシオン」で発表する。(4) 申請はグループ・個人につき一件とする。(5) 昨年度に助成を受けたプロジェクトも申請できる。
- 3 助成期間 研究期間は1年とする
- 5 募集期間・日程 (1) 2016年1月8日～2016年3月31日 (2) 理事会において選考する。
- 6 提出書類 (1) 「研究プロジェクト助成応募申請書」に必要事項を記入して応募してください。(2) 申請書のフォーマットは次のURLからダウンロードしてください。 URL <http://www.f-jinken.com/>
- 7 提出先・問合せ (公社)福岡県人権研究所

## 事／務／局／日／誌／か／ら (2015.10.17~2015.12.20 講師等敬称略)

### 10月

- 19 月 事務局会
- 20 火 大牟田市指導者養成講座(第1・2回)
- 23 金 第62回松本治一郎・井元麟之研究会
- 24 土 第5回教育部会(春日市) 山田明「市民性教育について」
- 26 月 事務局会
- 27 火 啓発担当者のための人権講座(県部落解放センター)  
(第一講; 内田博文「差別を規制することの意味」、第二講;  
友永健三「同対審答申50年、部落地名総監発覚40年」)  
歴史学習プロジェクト/須恵町

住民意識調査等の受託事業に関する事務、研究・研修や教育・啓発に関する相談業務、研修会の企画・運営、講師依頼への対応、補助金申請や事業報告、公益法人関係事務、関係機関・団体等との連携・調整事務等についてはスペースの関係で省略しています。

### 11月

- 3 火 文化の日
- 4 水 監査
- 7 土 第2回部落問題・人権問題に取り組む全国研究所交流会(~/8  
→(日)ヒューリアみえ)
- 9 月 事務局会
- 10 火 部落解放研究第49回全国集会(~/12(木)別府市)
- 13 金 福岡市人権啓発センター「若者と考える、地域にねざす部落史セミナー(第1回)」
- 14 土 第5回部落史研究部会、史資料プロジェクト(古賀市)
- 15 日 資料整理
- 16 月 福岡県同和問題に取り組む宗教者連絡会(県同宗連) フィールドワーク(北九州市下富野  
児童館)
- 18 水 年末調整説明会(福岡市)
- 20 金 第67回全国人権・同和教育研究大会(~/22(日)/長野市)
- 22 日 第4回執行理事会
- 23 月 勤労感謝の日
- 26 木 第63回松本治一郎・井元麟之研究会
- 27 金 大牟田市「人権のまちづくり」啓発リーダー養成講座(第3・4回)  
福岡市人権啓発センター「若者と考える、地域にねざす部落史セミナー(第2回)」
- 28 土 第6回教育部会(「市民性を問う」/福岡市)
- 29 日 北九州ふれあいフェスタ(ウエルとばた)
- 30 月 事務局会

### 12月

- 8 火 事務局会
- 11 金 福岡市人権啓発センター「若者と考える、地域にねざす部落史セミナー(第3回)」
- 12 土 第7回部落史研究部会、史資料プロジェクト(古賀市)  
第6回特別支援教育に関するセミナー~高等学校における発達障害のある生徒への支  
→援(福岡市)
- 13 日 第5回啓発部会(福智町)
- 14 月 事務局会
- 17 木 第64回松本治一郎・井元麟之研究会
- 18 金 福岡市人権啓発センター「若者と考える、地域にねざす部落史セミナー(第4回)」
- 20 日 海外スタディツアー企画部会(福岡市)

**【お知らせ】▶第3回外国人問題部会** 1月16日(日)14:00~ ヒューマンアルカディア(春日市)

内容:「ドキュメンタリー映画に学ぶ移住労働者の人権」

**▶第188回定例研兼第2回ジェンダー部会** 1月31日(日)14:00~ ヒューマンアルカディア(同上) 講師:井上 洋子さん 内容:森崎和江と石牟礼道子